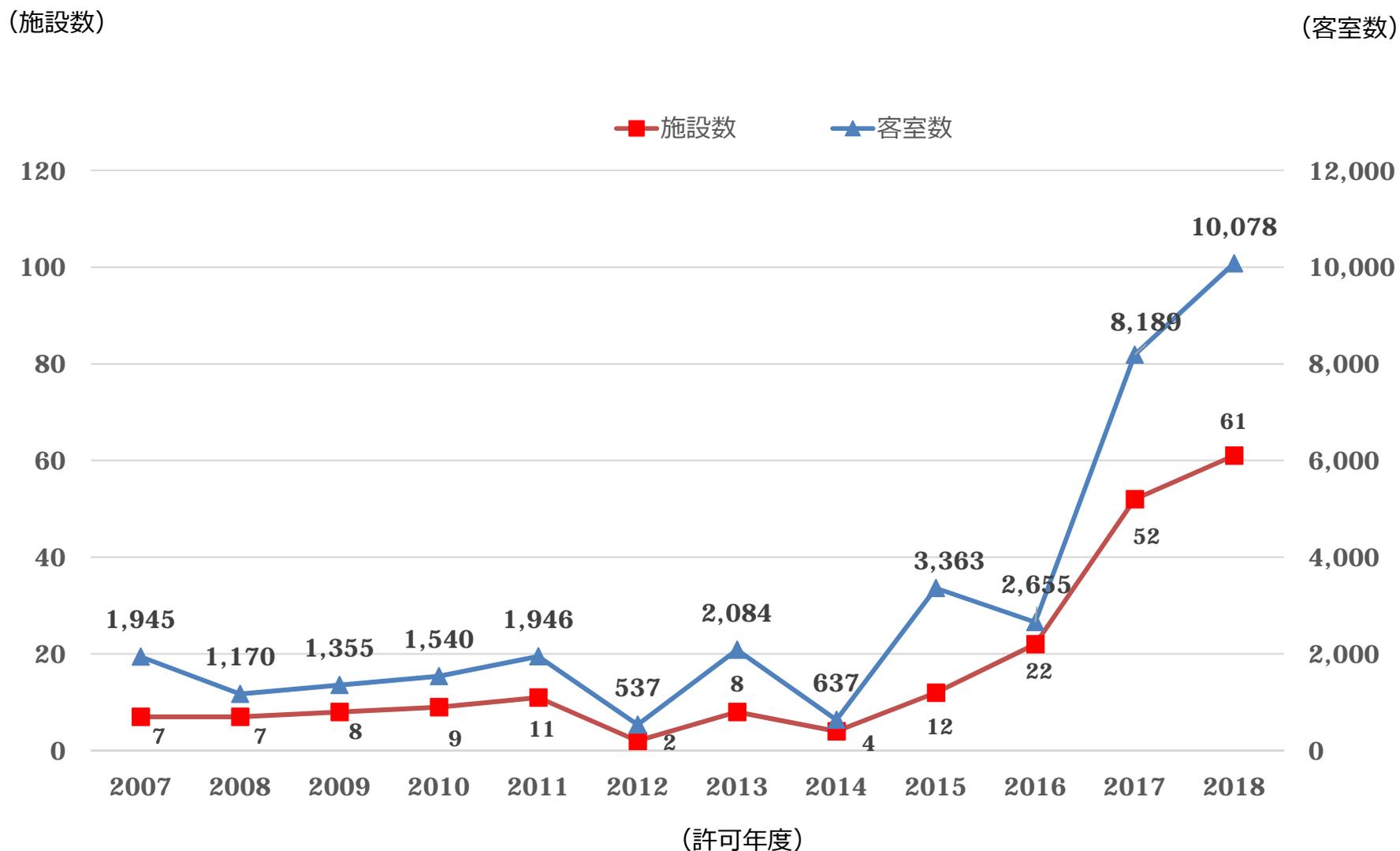


関連資料（ホテル又は旅館におけるバリアフリー化の促進）

ホテル・旅館の年度別供給施設数・客室数の推移（50室以上）

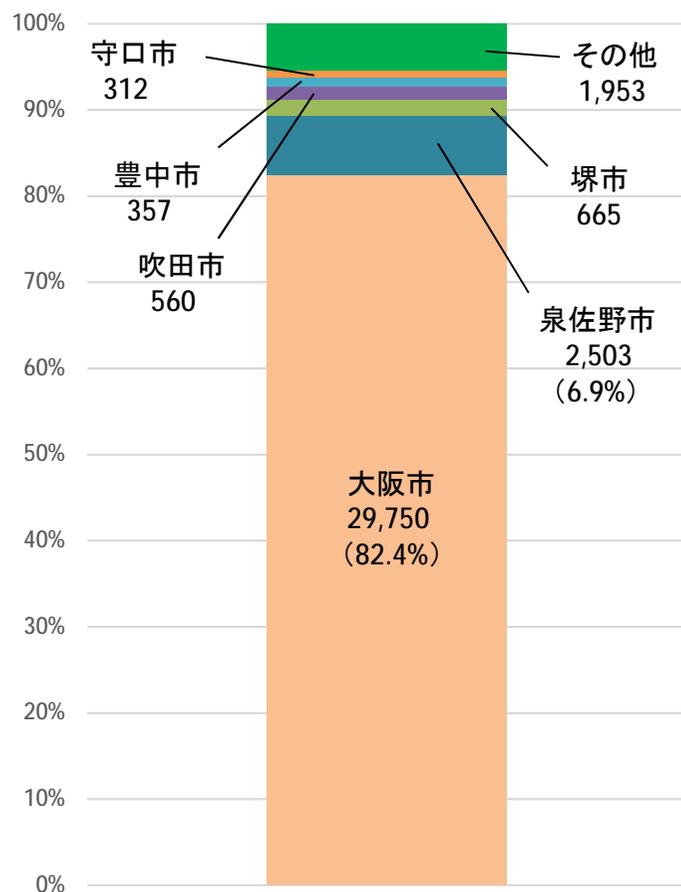
○ 2015年度から増加が始まり、2017年度から急激に許可等件数が増えている。



※大阪府内の2007年度～2018年度までに旅館業法の営業許可を受けた50室以上のホテル・客室が対象

大阪府内のホテル・旅館の供給立地と車椅子使用者用客室の供給数

- 市町村別に見ると、客室総数は大阪市内が**82.4%**と一番多く、次に泉佐野市が**6.9%**となっている。
- **2006年12月**から**2019年3月末**までで基準対象となる**50室以上**のホテル・旅館は**206施設****36,100室**であり、基準どおりに整備されているとして推計すると、車椅子使用者用客室は少なくとも**221室**（全体の**0.6%**）整備されている。



- ・ **206施設 客室総数 36,100室 ※1**
- ・ **車椅子使用者用客室（推計） 221室 ※2**

※1 大阪府内の**2006年12月～2019年3月末**までに営業許可した**50室以上**のホテル・客室が対象

※2 車椅子使用者用客室の推計方法

許可した施設は、バリアフリー法の移動等円滑化基準に適合（**50室以上**の場合 1室）した施設**202件(室)**と、同法**17条**に基づく認定を受けた移動等円滑化誘導基準に適合（**200室以下**は 2%、**200室超える分**は 1% + 2室）した施設**4件(19室)**があり、この基準どおり整備されたとして車椅子使用者用客室数を算出している。

バリアフリー法のホテル又は旅館の車椅子使用者用客室の基準

○ 車いす使用者用客室の設置数に係る基準

	建築物移動等円滑化基準	建築物移動等円滑化誘導基準
車いす使用者用客室の設置数	<ul style="list-style-type: none"> 客室総数50以上:1以上 →客室総数の1/100(1%)以上(2019年9月施行) 	<ul style="list-style-type: none"> 客室総数200以下 :客室総数の1/50(2%)以上 客室総数200超 :客室総数の1/100(1%)+2以上

○ 車いす使用者用客室の構造に係る基準

	建築物移動等円滑化基準	建築物移動等円滑化誘導基準
出入口	<ul style="list-style-type: none"> 幅:80cm以上 戸を設ける場合:自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造とし、かつ、その前後に高低差がないこと 	
便所 ※1	<ul style="list-style-type: none"> 便所内に以下を満たす車いす使用者用便房を設けること <ul style="list-style-type: none"> 腰掛便座、手すり等が適切に配置されていること 車いす使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間が確保されていること 	
車いす使用者用便房及び当該便房が設けられている便所の出入口	<ul style="list-style-type: none"> 幅:80cm以上 戸を設ける場合:自動的に開閉する構造その他の車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造とし、かつ、その前後に高低差がないこと 	
浴室又はシャワー室 ※2	<ul style="list-style-type: none"> 車いす使用者が円滑に利用することができる構造(以下の構造)であること <ul style="list-style-type: none"> 浴槽、シャワー、手すり等が適切に配置されていること 車いす使用者が円滑に利用することができるよう十分な空間が確保されていること 	
出入口	<ul style="list-style-type: none"> 車いす使用者用便房及び当該便房が設けられている便所の出入口と同様 	

※1:当該客室が設けられている階に不特定かつ多数の者が利用する便所(車いす使用者用便房が設けられたものに限る。)が一以上(男子用及び女子用の区別があるときは、それぞれ一以上)設けられている場合を除く。

※2:当該客室が設けられている建築物に不特定かつ多数の者が利用する浴室等(車いす使用者用浴室等が設けられ、出入口基準を満たすもの)が一以上(男子用及び女子用の区別があるときは、それぞれ一以上)設けられている場合を除く。

既制度における一般客室のバリアフリー化の目的

○ 国土交通省

(ホテル又は旅館における高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準の改正) (平成31年3月29日改正)

- 「車椅子使用者用客室」に加えて、高齢者、肢体不自由者、妊産婦やけが人等の一時的に制限を受ける人々、児童・乳幼児等、より多くの利用者にとって使いやすい一般客室を整備する。
- 多くの利用者にとって使いやすい一般客室を整備することは、車椅子使用者が各々の利用特性や二一応に応じて、車椅子使用者用客室以外の客室を選択できることにもつながる。
- また段差等のない一般客室に情報伝達設備や備品の貸し出しを組み合わせることは、視覚障害者や聴覚障害者にとって使いやすい客室の提供にもつながる。

○ 東京都

(建築物バリアフリー条例の改正) (平成31年3月29日公布、令和元年9月1日施行)

- ホテル又は旅館の一般客室について、バリアフリーの義務基準を設けることで、今後の超高齢社会の進展等を見据え、高齢者や障害者など、より多くの人々が利用しやすい宿泊環境を整える。

Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン

車椅子使用者に配慮した客室

- IPCガイドに基づき、車椅子に配慮した客室という概念を導入。
- 基準を満たしたアクセシブルなものでなくとも、多くの場合、整備しやすい対策によって、客室を一定の歩行困難者が利用できるようなものに変えることができる。
- 施設側はより多くの人々を受け入れる、あるいは限られた数のアクセシブルルームを、特に団体客の場合、最適に割り当てることが可能になる。
 - Ⅰ ドアの幅は、客室出入口、浴室出入口とも最低**800mm**確保する。
 - Ⅰ 室内に少なくとも1箇所、直径**1,200mm**（または**1,200mm×1,200mm**）のスペース（車椅子の方向転換のため）。
 - Ⅰ 少なくともベッドの片側に1箇所、最低**800mm**の移乗スペースを確保する。
 - Ⅰ 片側に移乗スペースがある、高さ**400～450mm**程度の便座。
 - Ⅰ 段差は完全になくすか、同一面の高さとする。これがどうしても無理な場合は、**25mm**を超えないようにし、なおかつ乗り越えやすい形状とする。

東京都 建築物バリアフリー条例の概要 (公布：2019.3.29 施行：2019.9.1)

- **対象** 用途 : 旅館業法に規定する「旅館・ホテル営業の用に供する施設」
ただし、風営法に規定する営業の用に供する施設、簡易宿所営業の施設は除く。
規模等 : 床面積の合計が**1,000㎡**以上の新築、増築、改築又は用途変更

■ 共用部の基準

道等及び車椅子使用者用駐車施設から一般客室までの経路のうち1以上を、階段又は段を設けない経路にしなければならない。ただし傾斜路、エレベーター又は昇降機を併設する場合は、この限りではない。

■ 一般客室内の基準 (和室部分は除く)

- ① 一般客室の出入口の幅は、**80cm**以上とすること。
- ② 一般客室内の1以上の便所及び1以上の浴室等の出入口の幅は**70cm**以上とすること。
- ③ 一般客室内に階段又は段を設けないこと。ただし、次に掲げる場合は除く。
 - ・ 同一客室内において複数の階がある場合
 - ・ こう配 $1 / 12$ を超えず、幅**70cm**以上の傾斜路を併設する場合
 - ・ 浴室等の内側に防水上必要な最低限の高低差を設ける場合
- ④ 建築主等は、②の規定にかかわらず、一般客室内の1以上の便所及び1以上の浴室等の出入口の幅が**75cm**以上となるよう、努めなければならない。

■ その他

- ・ 知事は、一般客室内の1以上の便所及び1以上の浴室等の出入口の幅が**75cm**以上となるよう、必要な施策の推進に努めなければならない。
- ・ 知事は、この条例の施行後**3年**以内に、改正後の条例の規定の施行状況、高齢者、障害者等の施設の利用状況、国が定めるホテル又は旅館における高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準等国の施策状況その他社会環境の変化を勘案し、当該規定について検討を加え、その結果に基づき、速やかに所要の措置を講ずるものとする。

ホテル又は旅館の一般客室におけるバリアフリー基準の比較表

		Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン (車椅子使用者に配慮した客室)	国基準 (建築設計標準) H31.3.29改正	東京都基準 H31.3.29公布 R元9月1日施行
客室出入口の幅		80cm以上	80cm以上	80cm以上
経路	浴室まで	—	100cm以上	—
	1ベッドまで	—	—	—
便所 浴室 等	段差	客室内は完全に段差なし (どうしても無理な場合は25mm 以下かつ乗り越えやすい形状)	扉の前後に高低差なし (防水上必要な最低限 の高低差を除く)	扉の前後に高低差なし (防水上必要な最低限 の高低差を除く)
	出入口の幅	80cm以上	原則として75cm以上	70cm以上義務 75cm以上努力義務
	浴槽等への寄付き	便座：片側に移乗スペース	—	—
	手すり・操作盤	浴槽手すり設置 操作盤 140cm 以下	適切配置	—
ベッド側面移乗スペース		少なくとも片側 1箇所 に 80cm以上	80cm以上	—
車椅子方向転換スペース		直径 120cm 又は 120cm×120cm	確保望ましい	—

■ 主要タイプのシングルルームにおける東京都基準（パブコメ時案）への対応状況

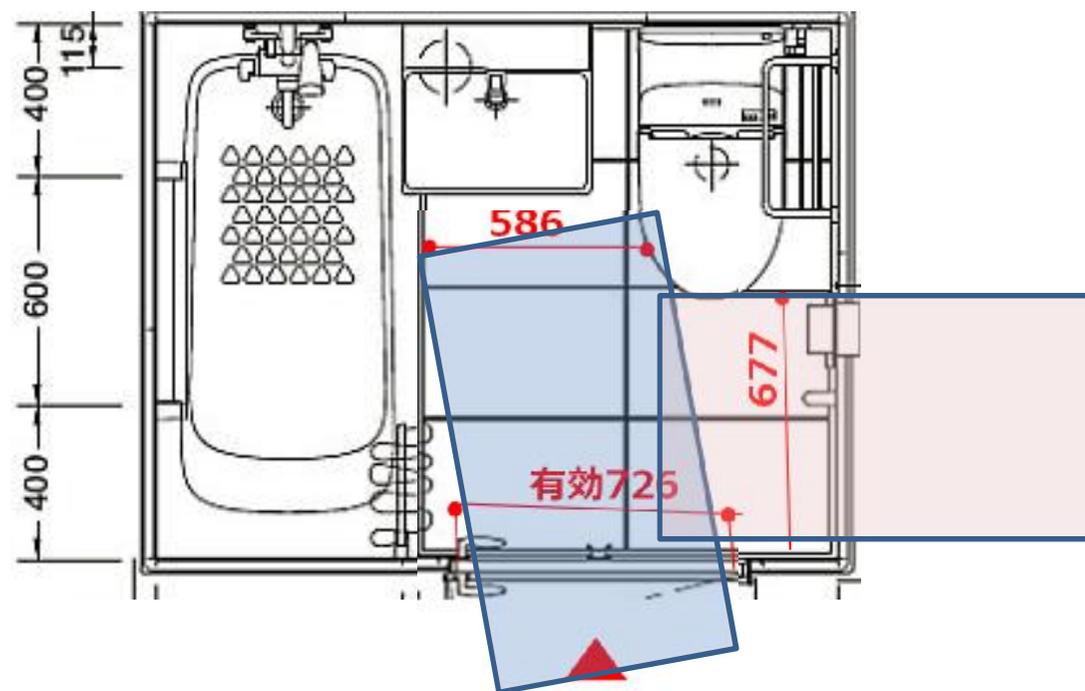
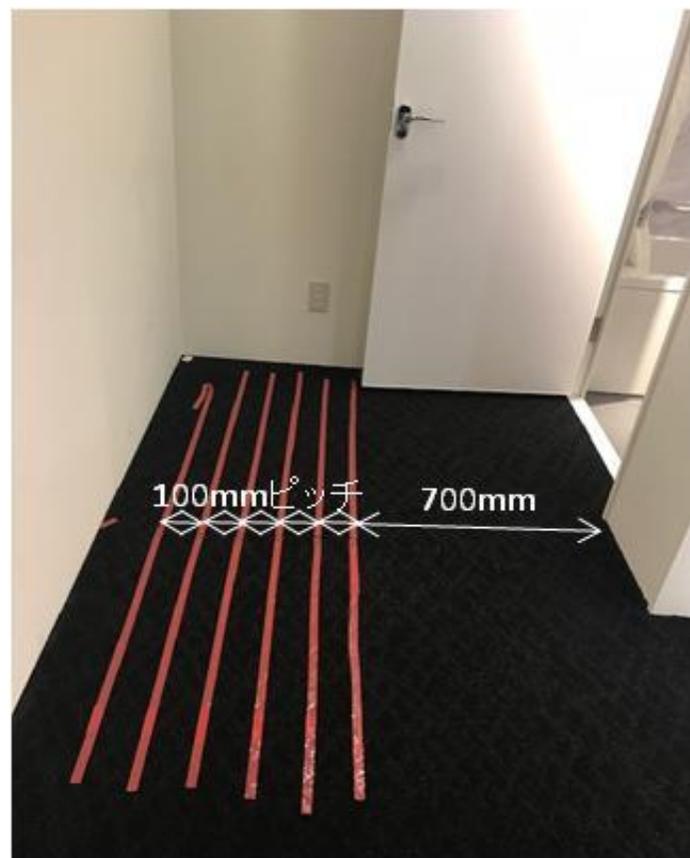
		エコノミータイプ 概ね20㎡以上	バジェットタイプ 概ね12㎡以下
客室出入口の幅 80cm以上		現状○→対応○	現状○→対応○
便所・浴室等	出入口の幅 70cm以上	現状×→対応△	現状×→対応△
		14×18の商品化必要	12×16の商品化必要
	段差なし (車いす対応可能)	現状○→対応○	現状×→対応△
		床の落とし込みで対応	階高を上げることが必要
客室出入口か らの経路 幅70cm以上	便所及び浴室等まで	現状○→対応○	現状○→対応○
	ベッドまで	現状○→対応○	現状×→対応△
		間口があり対応可	デスクを考慮すると 間口等を広げることが必要

3点式ユニットバスのモデルによる当事者の利用検証 ①

検証日：2018年12月19日

場所：TOTOテクニカルセンター大阪

対象ユニット：TOTO ENV1418（扉：有効開口726 長辺側に設置）



資料：TOTO ユニットバスルーム カタログ 2017.7に基づき大阪府で作成

3点式ユニットバスのモデルによる当事者の利用検証 ②

- 通路幅は、コンパクト型手動車椅子は750mm、電動車椅子等は1000mm必要。
- 段差25mmでは退室時に前輪が引っかかる車椅子あり。扉幅726mmでぎりぎり。

車椅子 情報	使用車椅子の種類						
			手動車椅子 (コンパクト型)	手動車椅子 (標準型)	電動車椅子 (自採用・標準型)	電動車椅子 (自採用・簡易型)	
	被験者の状況		上肢問題なし (高齢)	上肢が不自由 (介護あり)	上肢が不自由	上肢が不自由	
	全幅 () 内はカバン含む		540	570	643	600 (630)	
	全長 () 内はつま先含む		795 (900)	980 (1085)	990 (1050)	1110 (1200)	
使用 状況	浴室前通路幅の必要寸法		750	800 →介助無しであれば これ以上必要	1000	1000	
	出入の状況	段差	入室	○	△～×	○	○
			退室	△	△～×	△	×
	幅		○	△	○	○	
	洗面器への寄付き (長辺入)		○	△	○	○	
洗面器への寄付き (短辺入) ※		△	×	×	×		

※ 短辺入については、長辺入の検証結果による推定

単位：mm 11

3点式ユニットバス等の戸の幅の確保、段差対応のメーカー比較

	3点式ユニットバス				段差 (mm)	シャワーユニット		
	戸の幅70cm以上		戸の幅75cm以上			戸の幅 70cm 以上	戸の幅 75cm 以上	段差 (mm)
	1216	1418 以上	1216	1418 以上				
A社	—	—	○ (2019年10月から)	○ (2019年10月から)	13~35 機種・サイズによる	—	○ (10月から)	5
B社	○ (2019年7月から)	○ (2019年7月から)	—	○ (同左)	15~30 機種・サイズによる	—	—	—
C社	○ (2019年9月から) ※ オーダーメイドでの対応	○ (2019年9月から)	—	○ (同左)	20mm程度 (開発中)	—	—	—
D社	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 1216とはユニットバスの寸法（内法で1200mm×1600mm）

※ 「—」は現時点で製造予定がないことを示す。

※ 各メーカーへのヒアリングに基づき大阪府で作成（2019年6月現在）

引き戸の遮音性能、コストの検証

① 鋼板の種類による遮音性能の比較（建具メーカーへのヒアリングによる）

- Ø 引き戸で、デザイン性の優れた化粧鋼板の扉は、現状ではT-1まで。
- Ø 引き戸でT-2とする場合は、普通鋼板の単色塗装となりデザイン性が落ちる。
ただし、化粧シールを貼ることで化粧鋼板に似せることは可能。

（引き戸の種類）

種類	仕様	遮音性能
化粧鋼板	厚さ 0.6mm + 防音しん材 + 全周気密ゴム	T-1
	厚さ 0.8mm	製品なし ※ 1
普通鋼板 (化粧シール仕上げ)	厚さ 0.6mm + 防音しん材 + 全周気密ゴム	T-1
	厚さ 0.8mm + 防音しん材 + 全周気密ゴム	T-2

※ 1 汎用資材でないため、同一デザインで**150枚**以上の受注がないと製品化されない。

② 扉のコスト比較（建具メーカー見積り）

戸の種類	仕様	有効幅	遮音性能	価格
開き戸	化粧鋼板	80cm	T-1	約36万円
			T-2	約40万円
引き戸	化粧鋼板	80cm	T-1	約85万円
	普通鋼板 (化粧シール仕上げ)		T-2	約90万円

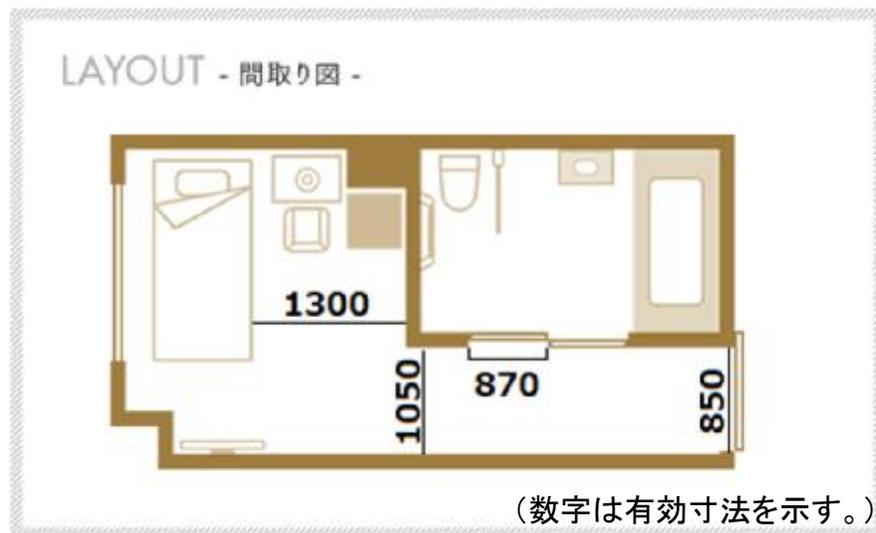
(参考) 遮音性能について

JIS A 4706、JIS A 4702により、下表の等級が決められている。

遮音性能等級	T-1	T-2	T-3	T-4
遮音性能（500Hz帯）	25dB	30dB	35dB	40dB

※ 例えば、**T-2**では外の音を**30dB**遮音することができる。

引き戸を採用した事例 ①



車椅子利用者用客室

広さ 18m²

ベッドサイズ 120×195cm

- ・出入口扉は一般客室の扉と同じデザイン
- ・タッチ式のカード錠(オートロック)
室内側からは壁に設置のボタンで開錠
- ・廊下側からは吊り装置が見えない内装
(室内側からは見える。)
- ・音に関する苦情は出ていない。

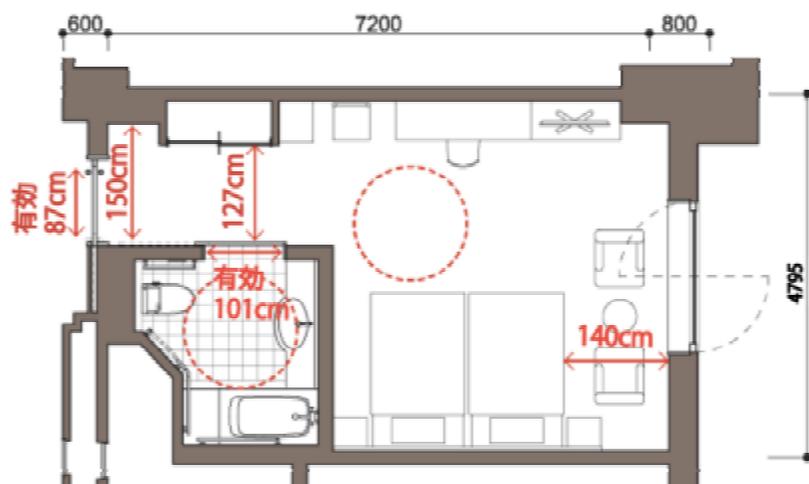


車椅子利用者用客室



一般客室

引き戸を採用した事例 ②



車椅子使用者用客室

広さ 34m²

ベッドサイズ 115×210cm

- ・出入口扉は一般客室の扉と同じデザイン
- ・タッチ式のカード錠(オートロック)
室内側からは壁に設置のサムターンで開錠
- ・室内側からは吊り装置が見えない内装
(廊下側からは見える。)
- ・音に関する苦情は出ていない。



車椅子使用者用客室



一般客室

兵庫県 福祉のまちづくり条例 バリアフリー情報の公表制度 ①

兵庫県 福祉のまちづくり条例

(情報の公表)

第24条の2 特定施設（規則で定める用途及び規模のものに限る。）の所有者又は管理者は、当該特定施設の整備状況に関する情報であって規則で定めるものをインターネットの利用その他の規則で定める方法により公表しなければならない。

	用途	規模
1	1.展示場 2.百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗 3.遊技場 4.公衆浴場 5.飲食店 6.理髪店その他これらに類するサービス業を営む店舗 7.クリーニング取次店その他これらに類するサービス業を営む店舗	床面積の合計10,000平方メートル以上の規模(2以上の用途が存する建築物を含む)
2	8.病院又は診療所 9.劇場、観覧場、映画館、演芸場、集会場又は公会堂 10.体育館、水泳場、ボーリング場その他これらに類する運動施設 (一般公共の用に供されるものに限る) 11.博物館、美術館又は図書館 12.銀行、質屋その他これに類するサービス業を営む店舗 13.地下街等	床面積の合計2,000平方メートル以上の規模(2以上の用途が存する建築物を含む)
3	14.ホテル又は旅館	客室合計50室以上の規模
4	15.保健所、税務署その他不特定かつ多数のものが利用する官公署 16.公共の交通機関の施設(鉄道駅舎、車両の停車場、船舶・航空機の発着場等)	全ての規模

兵庫県 福祉のまちづくり条例 バリアフリー情報の公表制度 ②

<p>公表内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出入口の戸の形式 2. エレベーターの有無・整備状況 3. 車椅子使用者、オストメイトが利用可能なトイレの有無 4. 授乳所、ベビーチェア、おむつ交換台の整備状況 5. 車椅子使用者利用客室・音声案内付客室の有無（ホテル、旅館のみ） 6. 敷地内通路上のスロープ設置、誘導設備の有無 7. 車椅子使用者利用駐車施設の有無 8. 案内所の有無、案内板の有無・点字、音声対応等の状況 9. 車椅子使用者スペース・集団補聴設備の有無（劇場、観覧場、映画館、演芸場、集会場、公会堂のみ） 10. その他知事が必要と認める事項 →10.については現在ありません。
<p>表示方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者等にわかりやすく表示 2. 整備されていない事項もその旨を表示
<p>公表方法</p>	<p>原則としてインターネットを利用するほか、パンフレット等に掲載してください。</p>

注既に情報の公表を行っている場合は、使用中の表示形式、図記号を従来どおり使用していただいて支障ありません。（公表内容、表示方法、公表方法が上記の事項を満たしているかご確認ください。）

兵庫県 福祉のまちづくり条例 バリアフリー情報の公表制度 ③

凡例			
	設備がある場合 (青色表示)		設備がない場合 (灰色表示)

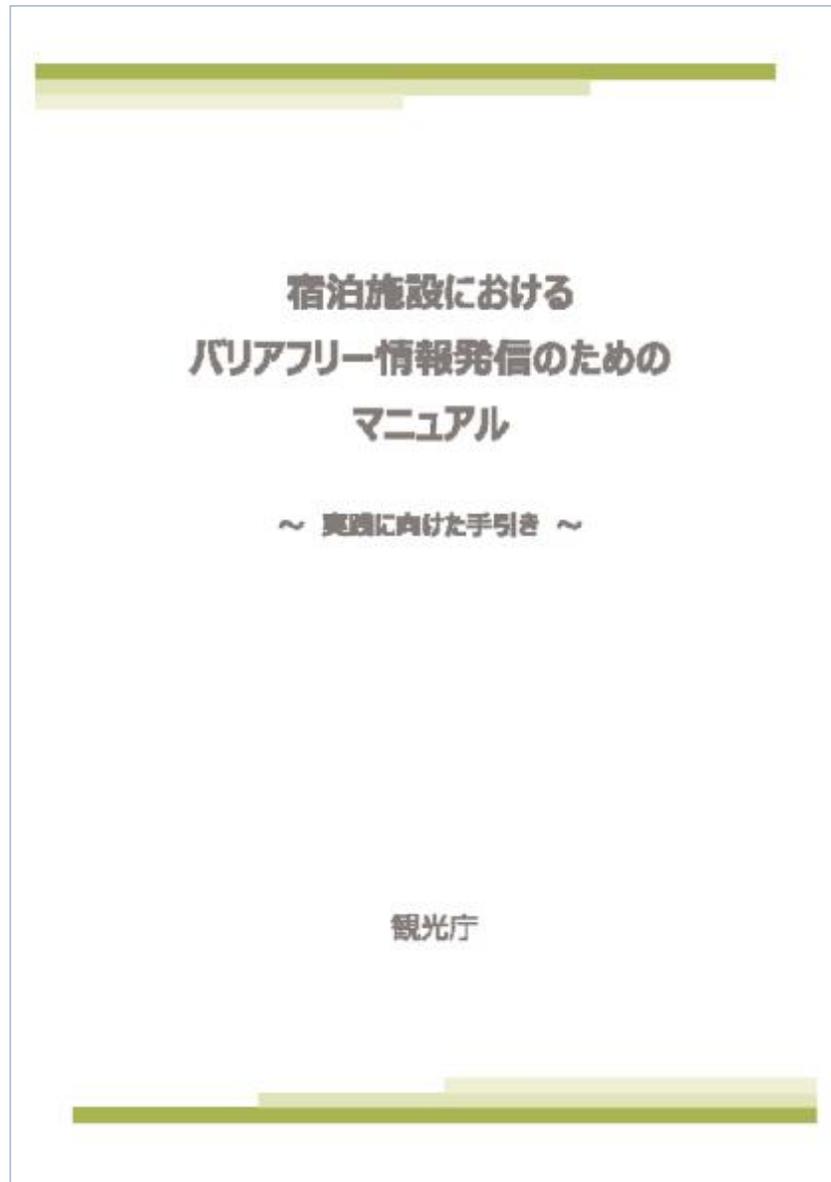
 [図記号\(ドクトグラム\)の説明\(PDF:64KB\)](#)

駐車場	敷地内 通路 (建物前)	主な外部 出入口	トイレ	誘導案内	昇降設備	観客席	宿泊設備	乳幼児 コーナー	その他
									
				 音声					
									
									
									
									
									
									
									
									
説明	<p>南側出入口は階段のみ、北側出入口は平坦となっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー設備完備の共用トイレは5階と10階でございます。 ● 車椅子利用者利用客室及び音声案内付客室は館内にそれぞれ2部屋ご用意しております。空室状況、室内設備の詳細等につきましては、お電話またはFAXにてお問い合わせください。 ● 乳幼児のお子様用にベビーベッドを無料でお貸ししております。ご利用の際は、フロントへお申し出ください。 ● 手話による対応が可能です。 								

兵庫県 福祉のまちづくり条例 バリアフリー情報の公表制度 ④

分類	ピクトグラム	
駐車場		駐車場
		車いす使用者対応駐車区画
敷地内通路(建物前)		平坦
		段差・階段あり
		スロープ
建物の主な外部出入口		自動ドア
		開き戸(手動)
		引き戸(手動)
トイレ		洋式トイレ (▲表示推奨)
		ベビーチェア
		おむつ交換台
		車いす使用者対応トイレ
		オストメイト対応トイレ
		介護ベッド (▲表示推奨)

誘導案内		視覚障害者誘導用ブロック
		音声誘導・音声案内
		点字案内板
昇降設備		受付案内所
		エレベーター
		車いす使用者対応エレベーター
		点字・音声付エレベーター
観客席		車いす使用者対応観覧スペース
		補聴設備
乳幼児コーナー		授乳室
		プレイコーナー・託児室 (▲表示推奨)
宿泊設備		車いす使用者対応客室
		音声案内付客室
その他		車いす貸出し (▲表示推奨)
		ベビーカー貸出し (▲表示推奨)
		筆談ボード・補聴機器 (▲表示推奨)
		AED (▲表示推奨)



本マニュアルは、宿泊施設がバリアフリー情報の発信に取り組むための手引きとなるように作成されたもの。

（バリアフリー情報発信の必要性等）

- ❶ 高齢者や障がいのある方が宿泊施設を利用する際には、本人が事前に施設の情報を確認し、宿泊できるかどうかを判断できることが必要。
- ❷ 高齢者や障がいのある方の受入を実践していくためには、お客様が必要とする情報を的確に発信することが大切。
- ❸ 情報提供を行う際には、施設のハード面に係る情報だけでなく、人的対応やサービス等のソフト面の情報も重要。
- ❹ 「設備や備品等が無い」「対応が難しい」といった情報も高齢の方や障がいのある方が施設の利用可否を判断する上で重要な情報となるため、全ての情報を発信することが重要

バリアフリー情報発信のためのセルフチェックシート（現場でも活用できるように整理されたもの）

障害種別	設備・備品・サービス		仕様	写真・動画
肢体不自由の方 車いす使用の方	設備の有無 備品貸出の可否	障害者用駐車スペース（専用スペース）		
		建物出入口の段差解消		
		施設内の段差解消		
		階段の手すり		
		エレベーター		項目ごとの対応状況を「○」、「×」で表示
		車いす対応の客室		
		客室から大浴場までの段差解消		
		大浴場内の手すり		
		車いす対応の共用トイレ		
		車いすの貸出		
	入浴備品の貸出			
人的対応・サービスの可否	食事会場（宴会場）における従業員による介助・サポート			
視覚障害の方	設備の有無 備品貸出の可否	階段の手すり		
		エレベーター内の音声案内		
		エレベーター内の操作盤の点字表示または立体表示		
		客室のドアに表示されている部屋番号の点字表示または立体表示		
	人的対応・サービスの可否	客室内への非常時の音声放送		
		従業員による建物入口・客室までの誘導（施設到着時） 従業員による客室内設備や操作方法の説明 食事会場（宴会場）における従業員による介助・サポート		
聴覚障害の方	設備の有無 備品貸出の可否	エレベーター内の行先階表示（ランプ表示）		
		エレベーター内の非常時の文字情報表示		
		客室内の非常時警報ランプまたは呼出用バイブレーション		
	人的対応・サービスの可否	字幕対応テレビ・字幕表示ボタン付きリモコン		
		従業員による筆談対応		
その他 全般	設備の有無 備品貸出の可否	オストメイト対応設備のある共用トイレ		
		部屋食の提供		
	人的対応・サービスの可否	食事の提供のフレキシブルな対応		
		食事の食品成分表示		
		多言語対応		

項目ごとの対応状況を「○」、「×」で表示

【仕様】
チェックシートに記入した項目ごとの補足情報を表示（数値等）

【写真・動画】
写真や動画を活用した情報発信をしていれば「○」を表示

バリアフリー対応の情報提供項目の例（重点項目） 国土交通省 建築設計標準（追補版）

事前情報 予約サービス	<input type="checkbox"/> HP等でバリアフリー情報の提供	日本語・外国語	全ての障がい者 訪日外国人
	<input type="checkbox"/> Web予約システムの提供	有・無	全ての障がい者
	<input type="checkbox"/> 電話、Eメール、fax等複数手段を用意。	有・無	全ての障がい者
共用部	<input type="checkbox"/> 障害者用駐車スペース（専用スペース）	有・無	肢体不自由者 車椅子使用者
食堂等（宴会 場）	<input type="checkbox"/> 少人数での食事が可能な小部屋又はコーナー	有・無	知的障がい者 発達障がい者
車椅子使用者用 客室	<input type="checkbox"/> 車椅子使用者用客室の部屋数	___室	肢体不自由者 車椅子使用者 同伴者
	<input type="checkbox"/> 客室面積	___㎡	
	<input type="checkbox"/> 間取り図（介助者の宿泊の可否・浴室等の形式（浴槽の有無、洗い場の有無）・ 車椅子回転スペース等）	有・無	
	<input type="checkbox"/> 客室出入口の有効幅	___cm	
	<input type="checkbox"/> 浴室又はシャワー室出入口の有効幅	___cm	
	<input type="checkbox"/> 便所出入口の有効幅	___cm	
一般客室	<input type="checkbox"/> 高齢者、障害者等の円滑な利用に配慮した一般客室の部屋数	___室	肢体不自由者 車椅子使用者
	<input type="checkbox"/> 客室面積	___㎡	
	<input type="checkbox"/> 間取り図（介助者の宿泊の可否・浴室等の形式（浴槽の有無、洗い場の有無）・ 車椅子回転スペース等）	有・無	
	<input type="checkbox"/> 客室出入口の有効幅	___cm	
	<input type="checkbox"/> 浴室又はシャワー室出入口の有効幅	___cm	
	<input type="checkbox"/> 便所出入口の有効幅	___cm	
客室共通	<input type="checkbox"/> 客室内の非常時警報ランプ又は呼び出し用バイブレーション	有・無	聴覚障がい者
貸し出し備品	<input type="checkbox"/> 車椅子の貸し出し	有・無	肢体不自由者 車椅子使用者
	<input type="checkbox"/> 入浴備品の貸出（シャワーチェア、シャワーキャリー、移乗台、入浴用リフト等）	有・無	
人的対応サービスの 可否（一般）	<input type="checkbox"/> 電話、FAX、Eメール等の複数の問合せ手段	可・否	聴覚障がい者
	<input type="checkbox"/> 従業員による筆談対応	可・否	
	<input type="checkbox"/> 従業員による手話対応	可・否	
	<input type="checkbox"/> 従業員による視覚障害者等のサポート（客室までの誘導、館内説明、移動時の介助等）	可・否	資格障がい者
	<input type="checkbox"/> 多国語対応	可・否 (語)	訪日外国人
人的対応サービスの 可否（食事）	<input type="checkbox"/> 食事の食品成分表示	可・否	その他全般

公益財団法人 東京都福祉保健財団 宿泊施設のUD設備状況の公表

公益財団法人 東京都福祉保健財団がホームページ「とうきょうユニバーサルデザインナビ」において、宿泊施設のユニバーサルデザイン設備状況を公表。平成31年2月現在、153施設。

ユニバーサルデザイン設備状況一覧 宿泊施設

この一覧表は各施設のホームページの情報を元に作成しております。

サイト名称	多目的トイレ	オストメイト	大人用折りたたみベッド	エレベーター	車椅子対応EV	エスカレーター	車椅子対応ES	昇降機	スロープ	バリアフリー移動経路	車椅子対応試音室	車椅子用観覧席	車椅子用駐車場	駐車場	手話	筆談	ユニバーサルデザイン対応の客室	おむつ替え授乳室	車椅子の貸し出し	ベビーカーの貸し出し	その他の情報
アクトホテル六本木																	○		○		
アワーズイン阪急														○			○				
R&Bホテル上野広小路																	○				
R&Bホテル大塚駅北口																	○				
R&Bホテル蒲田東口																	○				
R&Bホテル東京東陽町																	○				
R&Bホテル八王子																	○				
R&Bホテル東日本橋																	○				
秋葉原ワシントンホテル														○			○				
ヴィアイン秋葉原														○			○				
ヴィアイン浅草														○			○				
ヴィアイン新宿														○			○				
ヴィアイン東京大井町														○			○				
ヴィアイン東銀座														○			○				
エクセルシティーホテル														○			○				
ANAインターコンチネンタルホテル東京														○			○				
奥多摩の風 はとのす荘													○	○			○				
お茶の水セントヒルズホテル	○				○								○				○				
海人								○						○			○				バリアフリー浴室
かどやホテル				○					○								○		○		
かんぼの宿 青梅														○			○		○		
銀座キャピタルホテル	○													○			○				
グランドニッコー東京 台場	○			○									○	○			○	○			
グランドハイアット東京														○			○				
京王プラザホテル	○			○	○			○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	音声自動変換システム・補助犬専用トイレ・宴会場にて磁気ループシステム対応及び専用レシーバーの貸出
京急EXイン秋葉原																	○				
京急EXイン浅草橋駅前														○			○				
京急EXイン大森海岸														○			○				
京急EXイン蒲田																	○				
京急EXイン品川・新馬場駅北口																	○				